

(トップページ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/> )

(MENAランキングシリーズ: <http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/MENAranking.html> )

マイライブラリー:0262

(注)本稿は 2013 年 4 月 28 日から 5 月 7 日まで 6 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2013.5.7

前田 高行

## MENA(中東北アフリカ)の IT ネットワーク整備指数(2013年版)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その17)

<u>目次</u>	<u>頁</u>
1. 「The Networked Readiness Index」について	2
2. 2013年の順位	2
3. 分野別に見る各国の状況	4
4. UAE、サウジアラビア、トルコ、イスラエル4カ国と日米の比較(レーダーチャート)	6
5. 過去5年(09年～13年)の比較	7

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の 19 の国と 1 機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら 19 カ国・1 機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第17回のランキングは、「世界経済フォーラム(World Economic Forum, 略称 WEF)」が毎年発表

する「The Global Information Technology Report」(\*)の中から「The Networked Readiness Index 2013」について MENA 諸国をとりあげて比較しました。

\* ホームページ: <http://www.weforum.org/reports/global-information-technology-report-2013/>

## **1. 「The Networked Readiness Index」について**

「The Networked Readiness Index」(IT ネットワーク整備指数)は、毎冬スイスで開催される「ダボス会議」の主催者として世界に名を知られている「世界経済フォーラム(World Economic Forum, 略称 WEF)」が作成したものである。WEF では毎年「The Global Information Technology Report」を発表しており、その中で IT の整備状況に関する各国の競争力を Index(指数)としてランク付けしている。今回の 2013 年レポートでは世界144カ国がランク付けの対象となっている。

Index は(1)Environment (IT ネットワーク環境)、(2)Readiness (IT ネットワーク達成度)、(3)Usage (IT ネットワーク利用状況)及び(4)Impact (IT ネットワークのインパクト)の四つのサブ分野で構成され、またそれぞれのサブ分野ごとに Pillar(柱)と呼ばれる合計10個の評価項目がある。10項目について各国毎に評価し、それらを総合した指数(NRI)により144カ国がランク付けされている。

サブ分野(Sub Index)とそれぞれの評価項目(Pillar)

Environment (IT ネットワーク環境)

- (1)Political and regulatory environment (政治・制度環境)
- (2)Business & innovation environment (ビジネス及びイノベーション環境)

Readiness (IT ネットワーク達成度)

- (3)Infrastructure & digital content (IT インフラ及びデジタル・コンテンツ)
- (4)Affordability (IT 機器・ソフト入手の難易度)
- (5)Skills (IT 技術の習熟度)

Usage (IT ネットワーク利用状況)

- (6)Individual usage (個人の利用状況)
- (7)Business usage (ビジネス部門の利用状況)
- (8)Government usage (政府部門の利用状況)

Impact (IT ネットワークのインパクト)

- (9)Economic impact (経済的インパクト)
- (10)Social impact (社会的インパクト)

(MENA トップのイスラエルに続く GCC 諸国！)

## **2. 2013年の順位**

(表[http://members3.jcom.home.ne.jp/areha\\_kazuya/17-T02.pdf](http://members3.jcom.home.ne.jp/areha_kazuya/17-T02.pdf)参照)

今年度のレポートでランク付けの対象となった国の数は144カ国であるが、そのうち MENA は16カ国である。昨年は17カ国であったがチュニジアとシリアが抜け、リビアが2年ぶりでランクに復帰した。これら3カ国はいずれも2011年に MENA に吹き荒れた「アラブの春」で大きな影響を受けた国であるが、リビアが一応平穏を取り戻したことで再びランク付けされているのに対し、チュニジアとシリアはランク対象外とされている。前者は政治情勢が不安定であり、後者は内戦状態にある。NRI の調査主体が民間団体の WEF であると共に、IT ネットワークの主たる利用者が民間ビジネスであるため評価不能とみなされたようである。

MENA19カ国のうちランク付けされた国とされていない国は下記の通りである。

ランク付けされた国(16カ国):

イスラエル、UAE、カタール、バハレーン、サウジアラビア、ヨルダン、オマーン、クウェイト、トルコ、エジプト、モロッコ、リビア、アルジェリア、イラン、レバノン、リビア

ランク付けされていない国(3カ国):

チュニジア、シリア、イラク、

MENA 諸国の中でIT ネットワーク整備指数が最も高いのはイスラエルである。同国は世界ランク15位である。これに続く MENA 第2位はカタール(世界23位)、第3位 UAE(同25位)であり、これら3カ国は世界のトップレベルである。

第4位から8位までにはバハレーン(世界29位)、サウジアラビア(同31位)、オマーン(同40位)トルコ(45位)及びヨルダン(同47位)が並んでおり、これら MENA 上位8カ国が世界の上位50位以内である。

MENA9位以下はクウェイト(世界62位)、エジプト(同80位)、モロッコ(同89位)、レバノン(同94位)までが世界100位以内である。世界100位以下はイラン(101位)、アルジェリア(131位)、リビア(132位)、イエメン(139位)と続いており、アルジェリア、リビア及びイエメンは世界144カ国の最下位グループである。

MENA 上位5カ国のうちイスラエルを除く4カ国(カタール、UAE、バハレーン及びサウジアラビア)はいずれも GCC 諸国である。GCC にはこのほかオマーン及びクウェイトがあるが、このうちオマーンは世界40位で上位グループに入っているが、クウェイトは世界62位であり、GCC の中では評価が低い。クウェイトは国土も人口もさほど大きくなく、それでいて産油国として財政が豊かであるにも関わらず同じような UAE やカタールに比べて IT ネットワークの整備が遅れていると判定されたのは大きな問題をはらんでいると言えそうである。

なお MENA16カ国の世界平均順位は68位であり全体としては世界平均よりやや上位にある。因みに日本は世界21位でありイスラエルより低く、カタールより高い。また米国は世界9位、中国は世界58位である。中国の順位は MENA 諸国の中ではヨルダン(世界47位)、クウェイト(世界62位)と

同等程度である。

### 3. 分野別に見る各国の状況

(表[http://members3.jcom.home.ne.jp/areha\\_kazuya/17-T02.pdf](http://members3.jcom.home.ne.jp/areha_kazuya/17-T02.pdf)参照)

ITネットワーク整備指数を構成する10のサブ指数(上記1参照)について、MENA諸国の概要を見ると以下の通りである。

#### (1) Political and regulatory environment (政治・制度環境)

政治・制度環境分野では総合 MENA2位のカタールがトップで世界順位は18位である。これに続いて UAE(世界26位)、イスラエル(同28位)、サウジアラビア(同29位)が20位台後半にひしめいている。16カ国の世界平均順位は71位。

(参考: 日本19位、米国22位、中国56位)

#### (2) Business & innovation environment (ビジネス及びイノベーション環境)

ビジネス及びイノベーション環境の MENA トップはカタールで、同国の世界順位は12位である。2位以下はバハレーン(世界14位)、イスラエル(同15位)、UAE(同17位)の3カ国が世界20位以内であり、この分野では MENA は世界的にレベルが高い。サウジアラビア(同25位)、オマーン(同33位)、レバノン(同35位)も日本の世界順位37位より高い。レバノンは総合順位世界94位であるが、ここでは世界の上位グループに入っている。16カ国の世界平均順位は60位で10のサブ指数の中では評価が最も高い。

(参考: 日本37位、米国13位、中国105位)

#### (3) Infrastructure & digital content (IT インフラ及びデジタル・コンテンツ)

この分野で MENA1位はイスラエルで世界順位29位。イスラエルに続いて UAE、カタール、サウジアラビア及びバハレーンがそれぞれ世界順位30位台に並んでいる。地域の大国であるエジプト及びイランの世界順位は93位と97位であり両国の IT インフラとデジタル・コンテンツはかなり見劣りしている。MENA16カ国の世界平均順位は69位。

(参考: 日本24位、米国7位、中国83位)

#### (4) Affordability (IT 機器・ソフト入手の難易度)

IT 機器・ソフト入手の難易度のランクは総合ランクと大きく異なっており、MENA1位はトルコ、2位はエジプトである。両国の世界順位はトルコ4位、エジプト8位で世界のトップ水準である。この指標では日本は世界92位で非常に低い。IT 機器・ソフトが高価であることが日本の国際順位を低めていると考えられる。総合順位では MENA2位と3位であるカタール及び UAE も本指標の世界順位がそれぞれ103位、89位であり日本と同様の傾向がみられる。MENA16カ国の世界平均順位は64位。

(参考: 日本92位、米国15位、中国40位)

#### (5) Skills (IT 技術の習熟度)

IT技術の習熟度が MENA で最も高いのはカタールで、同国世界順位は5位である。MENA で二番目に高いのは UAE であるが、その世界順位は25位であり、カタールとの格差が大きい。UAE に続くのはレバノン(世界28位)、イスラエル(同32位)、ヨルダン(同34位)、サウジアラビア(同37位)、バハレーン(同44位)で、以上7カ国が世界順位50位以内に入っている。MENA16カ国の世界平均順位は66位。

(参考: 日本13位、米国20位、中国53位)

#### (6) Individual usage (個人の利用状況)

個人の利用状況について MENA のトップはカタールであり、同国の世界順位は16位である。この順位は日本(世界順位13位)よりは低いものの米国(同18位)より高い。カタールに続くのはイスラエル(同28位)、バハレーン(同30位)、UAE(同36位)、クウェイト(同40位)、サウジアラビア(同47位)、オマーン(同50位)で以上が世界50位以内である。MENA16カ国の世界平均順位は63位。

(参考: 日本13位、米国18位、中国83位)

#### (7) Business usage (ビジネス部門の利用状況)

MENA16カ国の中でビジネスにおける利用状況が最も高いのはイスラエルであり、同国は世界順位も第6位のトップクラスである。MENA2位はカタールであるが世界順位は27位でイスラエルとかなり隔たりがある。カタールとわずかな差で UAE(世界28位)及びサウジアラビア(同30位)が続き、さらに少し差が開いてトルコ(同48位)、オマーン(同52位)、ヨルダン(同55位)、バハレーン(同56位)の順である。MENA16カ国の世界平均順位は78位。

(参考: 日本2位、米国10位、中国35位)

#### (8) Government usage (政府部門の利用状況)

政府部門の IT 利用が MENA で最も進んでいる国は UAE であり、同国は世界2位とされている(因みに1位はシンガポール)。UAE に続くバハレーン、カタール、サウジアラビアの各国も世界ランクが4位、5位及び6位である。この分野では MENA、特に湾岸産油国は世界のトップレベルであり、米国(世界11位)を上回っている。またイスラエルは世界20位、オマーンは世界21位で、日本(世界27位)をしのいでいる。

しかしオマーンに続く MENA 諸国はヨルダン世界56位、トルコ同60位で世界144カ国の中位である。また世界順位100位以下の国もクウェイト、レバノンなど5カ国があり MENA16カ国の中では上下の格差が大きい。MENA16カ国の世界平均順位は67位。

(参考: 日本27位、米国11位、中国38位)

#### (9) Economic impact (経済的インパクト)

経済的インパクトが MENA で最も強いと判定されたのはイスラエルで世界順位は6位である。これに続くのは UAE であるが、同国の世界順位は28位でイスラエルと大きな差がある。UAE に次いでカタールが世界33位であり、以下サウジアラビア(世界42位)、ヨルダン(同49位)までの5カ国が世界50位以内である。MENA16カ国の世界平均順位は80位であり、10の指標の中では最も悪い。

(参考: 日本8位、米国11位、中国83位)

#### (10) Social impact (社会的インパクト)

社会的インパクトの指標では UAE(世界7位)及びカタール(同8位)が世界のベストテンに入っている。そのほかの国ではイスラエル(同14位)、バハレーン(同16位)、サウジアラビア(同18位)が米国とともに20位以内に入っている。因みに日本は31位、中国は42位であり、オマーン(世界34位)と肩を並べる順位である。MENA16カ国の世界平均順位は69位。

(参考: 日本31位、米国11位、中国42位)

### 4. UAE、サウジアラビア、トルコ、イスラエル4カ国と日米の比較(レーダーチャート)

(参照[http://members3.jcom.home.ne.jp/areha\\_kazuya/17-G02.pdf](http://members3.jcom.home.ne.jp/areha_kazuya/17-G02.pdf) )

イスラエル(総合順位15位)、UAE(同25位)、サウジアラビア(同31位)及びトルコ(同45位)と日本、米国(同21位及び9位)の6カ国について分野別の順位をレーダーチャートとして比較すると以下の通りであった。なおレーダーチャートは最も外側が世界順位1位であり内側の中心は100位である。そして最上段の Overall が全体の世界順位であり、時計回りの1から10までは前項3の分野別順位に対応している。

6カ国のチャート図比べると米国は円形が大きな広がりを示している。これは全ての項目において高い順位を獲得していることを示している。イスラエルは殆どの項目の順位が米国よりも低く円が小型であるが、比較的バランスが取れた円形である。一方 UAE と日本は一部の項目で世界順位が高く全体的に円が外に広がっているものの、両国とも Affordability((IT 機器の購入のしやすさ)が極端に低いびつな円形になっている。サウジアラビアは形状が UAE に似通っているが、全ての項目の世界順位が UAE よりも低く、円形が小さいのが特徴である。これら5カ国に比べトルコは一つの項目を除き世界順位はいずれも50~80位前後であり、円の面積が最も小さく、同国の IT ネットワーク整備が不十分であることを示している。

国別に見ると、UAE は半数以上の項目が世界30位以上である。UAE の場合は Government Usage(政府部門の利用状況、項目 No.8)及び Social impacts(社会的インパクト、項目10)の二項目では米国を上回っているが、その他は米国よりもかなり劣っており、特に Affordability(購入のしやすさ、項目 No.4)は世界89位であり、比較した6カ国の中では日本(92位)に次いで順位が低い。サウジアラビアの場合は Government Usage(政府部門の利用状況、項目 No.8)が世界8位であるが、Affordability(購入のしやすさ、項目 No.4)、Individual usage(個人の利用状況、項目 No.6)や Economic impact(経済的インパクト、項目 No.9)などが低い。同国では政府部門に比べ企業或いは個人の利用状況が低いようである。

イスラエルは企業のネットワーク利用状況(項目 No.7)、経済的インパクト(項目 No.9)及び社会的インパクト(項目 No.10)のランクが高く米国と肩を並べているが、Infrastructure & digital content(項目 No.3)、Affordability(購入しやすさ、項目 No.4)、Skills(IT 技術習熟度、項目 No.5)が世界30位前後にとどまっている。

トルコは円形がいびつでしかも小さい。即ち同国はいずれの項目でも国際順位が低く、また項目によって順位に大きな差があることが分かる。特に Affordability(購入のしやすさ)は世界4位であり比較した6カ国の中では最も高いがその他の項目はいずれも世界40位以下であり、Skills(IT 技術の習熟度、項目5)の世界順位が他の項目に比べて著しく低い。

なお日本は総合順位21位であるが、項目によって世界順位に大きなばらつきがある。即ちビジネスの利用状況(項目 No.7)は世界2位のトップレベルにあるが、ビジネス・イノベーション環境(項目 No.2)、政府機関の利用状況(項目 No.8)、社会的インパクト(項目 No.10)などは世界30位前後であり、Affordability(購入のしやすさ)は世界平均を大きく下回る92位にとどまっている。全体としてIT ネットワークの整備度合いはバランスに欠けているようである。

## 5. 過去5年(09年～13年)の比較

(図[http://members3.jcom.home.ne.jp/areha\\_kazuya/17-G01.pdf](http://members3.jcom.home.ne.jp/areha_kazuya/17-G01.pdf) 参照)

(表[http://members3.jcom.home.ne.jp/areha\\_kazuya/17-T01.pdf](http://members3.jcom.home.ne.jp/areha_kazuya/17-T01.pdf) 参照)

サウジアラビア、カタール、トルコ、エジプト、アルジェリアの6カ国及び MENA 平均と日本の2009年から2013年までの世界ランクの推移を比較する。

サウジアラビアの世界順位は2009年の40位以降、38位(10年)→33位(11年)→34位(12年)→31位(13年)とほぼ毎年順位を上げている。過去5年間は石油価格の高騰により同国の歳入は大幅に増加、また政情も安定していたためIT ネットワークの整備が進んだことをうかがわせる。同じ湾岸のカタールも同様の傾向を示しており5年間の順位の変動は29位(09年)→30位(10年)→25位(11年)→28位(12年)→23位(13年)であった。

ここ数年顕著に順位がアップしているのはトルコであり2011年の71位から52位(12年)→45位(13年)へと急上昇している。同国は高い経済成長率を達成しており産業発展のハード面とIT ネットワークのソフト面の改善が相乗効果を発揮している。

これに対してエジプトとアルジェリアは国内政治の低迷或いは混乱がIT ネットワークの整備に悪影響を及ぼしているようである。エジプトの場合、2010年の世界70位をピークに74位(11年)→79位(12年)→80位(13年)と連続して順位を下げている。またアルジェリアは108位(09年)→113位(10年)→117位(11年)→118位(12年)→131位(13年)であり5年連続して下落、2013年は世界144カ国中の最低グループに落ち込んでいる。

MENA の中にはエジプトやアルジェリアのようにIT ネットワーク整備の世界ランクが落ちている国が少なくないため、MENA の平均順位も2009年の58位から2013年には68位まで下落している。これは MENA 諸国のネットワーク整備状況が悪化したというよりも、世界の他の国々の整備状況が向上したためと言うべきであろう。2011年以降 MENA に吹き荒れた「アラブの春」の混乱がランク低落の大きな要因であることは間違いない。

因みに日本の順位は17位(09年)→21位(10年)→19位(11年)→18位(12年)→21位(13年)で過去5年間20位前後を上下している状況である。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601  
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642  
E-mail; [maeda1@jcom.home.ne.jp](mailto:maeda1@jcom.home.ne.jp)